

社会科（地理的分野）

社会科（地理的分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、地理的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。
- 5 生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の国土と郷土に対する愛情、伝統と文化の尊重、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深められるよう、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

社会科（地理的分野）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新編 新しい社会 地理」

学習課題が、単元を貫く「探究課題」と毎時間ごとの「学習課題」の2段階で示され、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されているとともに、「探究課題」の解決につながる「探究のステップ」が用意されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。

各単元の導入の活動で、単元全体を貫く問いとして「探究課題」が設定されている。その「探究課題」の解決に向け、毎時間ごとの学習課題や「チェック」と「トライ」を積み重ね、そこで習得した知識及び技能を基に、「探究のステップ」に取り組んだうえで、まとめ活動で「探究課題」の解決を図るといった課題解決的な学習の流れが構造化されており、生徒にとって取り組みやすく、優れている。

単元の「導入の活動」で、資料をもとに単元の探究課題を掴むための対話的な学習のイメージが示され、生徒が単元の見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。また、各単元の探究課題と関連する問いが、各時間に設定され、単元の「まとめの活動」では、生徒が学習内容を振り返って探究課題の解決につながる「探究のステップ」に取り組む活動で、思考ツールを用いるなど、段階的に探究的な学習を進められるよう工夫されている。

「見方・考え方」を示す虫眼鏡のマークを付けた活動が随所に設定されており、生徒が意識して見方・考え方を働かせながら考察を深めることができる。また、「まとめの活動」では、ベン図、ウェビングマップ、フィッシュボーンなどの思考ツールの活用が提案されているなど、生徒が見方・考え方を働かせながら探究課題の解決を図れるよう工夫されている。

世界の諸地域の「まとめの活動」では、生徒が地球的課題の視点から各州の地域的特色を捉え、持続可能な社会に向けての課題を考察するなど、生徒が社会参画の意識を高められる工夫に優れている。

■教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」

世界や日本の諸地域の学習の単元では、単元を通した学習テーマや学習の視点が示されるとともに、毎時間ごとの学習課題に対するまとめに加え、単元末でもまとめ活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、巻頭の「地理にアプローチ」や適所に設けられた「地理の技」コーナーでは、地図やグラフの扱い方が具体的に示されているなど、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

章末の「学習のまとめと表現」で、章の学習テーマを複数の視点から意見交換、話し合いを行う場面が設定されており、生徒が多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。特設ページ「持続可能な社会に向けて」では、過疎の地域の課題等を取り上げ、言語活動の充実が図れるよう学習課題が工夫されている。

毎時間の「表現」や章末の「学習のまとめと表現」で、意見交換や話し合う場面が適宜設けられるなど、対話的な学習が展開できるよう工夫されている。さらに、特設ページ「持続可能な社会に向けて」では、今日的な課題が例示されており、個々の生徒の関心に応じて探究学習を進めるとともに、課題解決に向けて、探究意欲を高められるよう工夫されている。

巻頭ページで、地理の学習を進めていく上で重要な視点として「地理的な見方・考え方」が5

つの視点で解説されている。また、地理的な見方・考え方を働かせる問いを毎時間の学習の中で、「確認／表現」として設定することで、生徒が学習課題に対して見方・考え方を働かせた学習に取り組めるよう工夫されている。

写真等から、各地域の文化の特色に気づかせる工夫や、世界地誌・日本地誌の学習を中心に、多文化共生社会に注目した特設ページを設けて、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるように工夫されており、優れている。

■帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」

学習課題が単元を貫く問いとなる「章の問い」や「節の問い」と毎時間ごとの問いの2段階で用意され、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されるとともに、適宜、部・章全体のねらいが示されるなど、生徒にとって学習が進めやすく、優れている。適宜設定されている「資料活用」では、資料を読み取る際の具体的な視点やその資料をもとに考えを深める活動が用意されている。

毎時間の学習のまとめとなる「説明しよう」で、1時間の学習内容をもとに、説明してまとめる活動が設定され、章末の「学習を振り返ろう」では、学習内容を整理し、話し合い等を通して、自分の考えを深めていく活動が段階的に示されており、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。また、「アクティブ地理」では、多面的・多角的に考察しながら、課題解決の方法を構想するといった活動が設定されているなど、対話場面や言語活動を意識した学習課題が充実しており、優れている。

社会の課題解決に向けた取組事例の紹介やコラム「未来に向けて」「地理プラス」で、環境、防災、共生社会などのテーマに沿って、学習内容をさらに掘り下げる題材が豊富に取り上げられており、持続可能な社会の姿の実現に向けた発展的な学習につながる工夫として優れている。

学習課題に対応した「確認しよう」と「説明しよう」の課題を通じて、生徒が個別に学習を進めることができ、「アクティブ地理」などの学習課題では「対話」のマークを示して、グループ活動等を通じて協働的に学びを深めることができるよう工夫されている。

日本のさまざまな地域、日本の諸地域の冒頭に「学ぶにあたって」と題して、7つの地方を学習する際に6つの地理の見方・考え方を示し、生徒が各地方の学習における考察の仕方を見通すことができるように工夫されている。

■日本文教出版「中学社会 地理的分野」

各ページに学習を進める際の「見方・考え方」を示す工夫が見られ、生徒が学習課題を通じて、知識だけではなく、地理的な見方・考え方を習得できるように構成されている点で優れている。掲載資料に適宜設定されている「資料活用」では、地図やグラフを読み取る活動が提案され、「スキルUP」では、様々な資料の読み取り方や地域調査の手法が示されているなど、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

章の問いや節の問い、毎時間ごとに学習課題が示され、各ページの学習課題に対応したまとめとして「確認」「表現」の活動が設定され、章や節の末の「まとめと振り返り」では、学習内容を関連付け、課題解決に向かう学習が展開できるよう工夫されている。

各章の導入ページで、その章で主に着目する見方・考え方を示した上で、「節の問いを立てよう」で学習を見通し、見方・考え方を働かせながら、社会的な課題を考察し探究できるよう構成されるなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。さらに、各章末の「まとめと振り返

り」では、意見交換したり、話し合ったりする活動が用意されており、対話的な学びが展開しやすいよう工夫されている。

単元の導入で、単元を貫く学習の着目点として、見方・考え方を示すとともに、毎時間の学習課題に応じて、着目する見方・考え方を示しており、生徒が常に見方・考え方を学習の視点として具体的に捉えやすいように工夫されている。

適宜設定されているコラムや特設ページなどで、世界や日本における自然・世界遺産や文化財等の伝統と文化を守り、未来に継承していく人々の営みについて深く考える題材が取り上げられており、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。	1 基礎的基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○	○
		2 指導事項(学習課題やまとめ・振り返り活動等)の明示	○	○	◎	◎
		3 用語・語句の取り上げ方や説明・注釈などに関する工夫	○	○	○	○
		4 様々な情報を収集・読み取り・まとめる技能を身に付けるための工夫	○	○	○	○
2	習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1 習得した知識及び技能の活用を促す工夫	○	○	○	○
		2 説明したり議論したりするなどの言語活動の充実	○	○	◎	○
		3 課題を追究したり解決したりする学習の進め方の提示	◎	○	○	○
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。	1 探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	○	○	◎	○
		2 発展的な学習活動につながる工夫	○	○	◎	○
		3 ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	○	○	○	○
4	グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、地理的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。	1 地理的な見方・考え方を働かせる課題設定の工夫	○	○	◎	○
		2 世界の諸地域学習における地球的課題の視点の位置付け	○	○	○	○
		3 日本の諸地域学習における適切な考察の仕方の設定と柔軟性	○	○	○	○
5	生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の国土と郷土に対する愛情、伝統と文化の尊重、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深められるよう、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。	1 持続可能な社会の形成に参画する態度を養うための工夫	◎	○	◎	○
		2 多様な文化を理解し尊重する態度を養うための工夫	○	◎	○	○
		3 地域調査に関する学習、観察や調査、作業的な学習の設定や工夫	○	○	○	○
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。	1 人権教育の推進	○	◎	○	○
		2 道徳教育の推進	○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	1 単元構成の系統性・発展性	○	○	○	○
		2 他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○
		3 他校種との接続	○	○	○	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	◎	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○

【社会（地理的分野）】観点別資料

【選定の観点1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	17 教出	46 帝国	116 日文
<p>2 東書</p> <p>○毎時間設定されている、「チェック」で基礎的・基本的な内容を確認し、「トライ」で要約や説明をする言語活動に繰り返し取り組むことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、章末に「まとめの活動」が設定されており、学習した語句の説明をしたり、学習した地域の地名を確認したり、その地域の特色を示す資料を探したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題が、単元を貫く「探究課題」と毎時間ごとの「学習課題」の2段階で示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されているとともに、「探究課題」の解決につなげる「探究のステップ」が用意されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○「もっと解説」で本文中で理解を深めたい語句を補足するよう工夫されている。また、巻末には、「用語解説」のページが用意され、巻末・本文ともに、関連ページが表示されるなど、難しい用語について調べやすいよう工夫されている。</p> <p>○資料の読み取り、情報収集・まとめなどの技能を身に付けるためのコーナーが随所に設定されている。また、方位の示し方や時差の調べ方、様々な資料の読み取り方などが数多く紹介されている「スキルアップ」コーナーや写真やグラフ、地図などの資料を読み取る力を養う特設ページ「資料から発見！」など、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>17 教出</p> <p>○毎時間設定されている「確認」で基礎的・基本的な内容を確認し、「表現」で学習課題に関するまとめや話し合い活動を行うことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、章末に「学習のまとめと表現」が設定されており、学習した語句の説明をしたり、地図上の位置や地名を確認したり、その地域の特色をまとめたりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○世界や日本の諸地域の学習の単元では、単元を通じた学習テーマや学習の視点が示されているとともに、毎時間ごとの学習課題に対するまとめに加え、単元末でもまとめ活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○本文に、注釈で補足説明が付けられている。また、巻末には、「用語解説」のページが用意され、巻末・本文ともに、関連ページが表示されるなど、難しい用語について調べやすいよう工夫されている。</p> <p>○随所に生徒が資料を読み取り・分析する際の視点が問いの形で示されている。また、巻頭の「地理にアプローチ」や随所に設けられた「地理の技」コーナーでは、地図やグラフの扱い方が具体的に示されているなど、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>46 帝国</p> <p>○毎時間設定されている「確認しよう」で、本文や図から重要語句やポイントを書き出し、「説明しよう」で習得した知識を活用する言語活動に繰り返し取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、章末に「学習を振り返ろう」が設定されており、章全体の学習内容を振り返ることができるとともに、地図上の位置や地名を確認したり、まとめたりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題が単元を貫く問いとなる「章の問い」や「節の問い」と毎時間ごとの問いの2段階で用意され、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されるとともに、適宜、部・章全体のねらいが示されるなど、生徒にとって学習が進めやすく、優れている。</p> <p>○本文中に注釈で補足説明を付けることで生徒の理解を補うとともに、特に難しい用語には、「解説」コーナーを充実させることで、本文と関連させながら生徒の用語理解を助ける工夫が見られる。</p> <p>○適宜設定されている「資料活用」では、資料を読み取る際の具体的な視点やその資料を基に考えを深める活動が用意されているなど、生徒が必要な情報を読み取る力を身に付けられるよう工夫されている。また、随所に設定されている「技能をみがく」コーナーでは、様々な資料の読み取り方や地域調査の手法が示されているなど、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>116 日文</p> <p>○毎時間設定されている「確認」で、学習課題と共に示された見方・考え方を基に、学習のまとめを行い、「表現」で習得した知識を活用する言語活動に繰り返し取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、章の導入で、これからの学習の見通しを示している。章末では、「まとめと振り返り」によって、地図上の位置や地名、章のテーマに沿ったキーワードを確認しながら、まとめたりするなどの課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各ページに学習を進める際の「見方・考え方」を示す工夫が見られ、生徒が学習課題を通じて、知識だけではなく、地理的な見方・考え方を習得できるように構成されている点で優れている。</p> <p>○本文に、注釈で補足説明が付けられている。また、巻末には、「用語解説」のページが用意され、巻末・本文ともに、関連ページが表示されるなど、難しい用語について調べやすいよう工夫されている。</p> <p>○掲載資料に適宜設定されている「資料活用」では、地図やグラフを読み取る活動が提案されている。また、「スキルUP」では、様々な資料の読み取り方や地域調査の手法が示されているなど、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点2】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「トライ」で、1時間の学習内容を基にした、要約や説明する活動が設定されている。単元のまとめや振り返りには、思考ツールを活用しながら自分の考えを整理・表現する活動が用意されているなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○単元の導入やまとめに設けられている「みんなでチャレンジ」では、EUI統合を進めるべきか、進めるべきでないかをディスカッションするなどの言語活動が豊富に設定されており、多面的・多角的に考察しながら、言語活動の充実が図れるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の導入の活動で、単元全体を貫く問いとして「探究課題」が設定されている。その「探究課題」の解決に向け、毎時間ごとの学習課題や「チェック」と「トライ」を積み重ね、そこで習得した知識及び技能を基に、「探究のステップ」に取り組んだ上で、まとめ活動で「探究課題」の解決を図るといった課題解決的な学習の流れが構造化されており、生徒にとって取り組みやすく、優れている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「表現」で、学習した内容について、さらに調べたりまとめたりする活動が設定されている。章末の「学習のまとめと表現」では、章の学習で習得した知識を整理しながら、自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動が設定されているなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○章末の「学習のまとめと表現」で、章の学習テーマを複数の視点から意見交換、話し合いを行う場面が設定されており、生徒が多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。</p> <p>特設ページ「持続可能な社会に向けて」では、過疎の地域の課題等を取り上げ、言語活動の充実が図れるよう学習課題が工夫されている。</p> <p>○世界の諸地域や日本の諸地域の単元では、導入部分で学習テーマや学習の視点が示され、そのテーマに基づいた毎時間ごとの学習課題が設定されている。単元の最後には、単元の学習を通して身に付けた知識及び技能を活用しながら課題解決を図るまとめのページが設けられており、生徒が課題解決的な学習を進められるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「説明しよう」で、1時間の学習内容を基に、説明してまとめる活動が設定されている。章末の「学習を振り返ろう」では、学習内容を整理し、話し合い等を通して、自分の考えを深めていく活動が段階的に示されている。生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○各節末の「学習を振り返ろう」では、単元の学習内容を振り返った後、模式図を使って各地域の特色や背景、課題等を踏まえて、生徒が持続可能な社会に向けた自分の考えを表現したり、まとめたりする活動が展開できるよう工夫されている。また、「アクティブ地理」では、学習内容を基に多面的・多角的に考察しながら、課題解決の方法を構想するといった活動が設定されているなど、対話場面や言語活動を意識した学習課題が随所に見られて充実しており、優れている。</p> <p>○各ページの学習内容において、章・節の問い、毎時間ごとの学習課題が明示されているとともに、学習課題に対する考察やまとめの活動が章末や毎時間に用意されている。章末のまとめでは、学習内容を模式図に整理するなど、視覚的に確認しながら、生徒が見方・考え方を働かせて段階的に単元を貫く章・節の問いの解決を図ることができるなど、課題解決的な学習の充実が図れるように工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「確認」と「表現」では、1時間の学習内容を基に、説明したりまとめたりする活動、見方・考え方を働かせて学習内容をさらに深めるための活動が設定されている。章や節の末に設定された「まとめと振り返り」では、章や節の学習を通して身に付けた知識及び技能を活用する活動が設けられ、生徒が思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○節の「まとめと振り返り」の「議論してみよう」のコーナーで、その地域の具体的な課題についてグループで話し合ったり、議論したりする活動が設定されており、言語活動の充実を通して、生徒が多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。</p> <p>○章の問いや節の問い、毎時間ごとに学習課題が示され、各ページの学習課題に対応したまとめとして「確認」「表現」の活動が設定され、生徒が課題解決的な学習を進められるよう工夫されている。章や節の末の「まとめと振り返り」では、学習内容を関連付け、課題解決に向かう学習が展開できるよう工夫されている。</p>

【選定の観点3】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
<p>○単元の「導入の活動」で、資料を基に単元の探究課題を掘むための対話的な学習のイメージが示され、生徒が単元の見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、対話的な活動が展開できるよう工夫されている。また、各単元の探究課題と関連する問いが、各時間に設定され、単元の「まとめの活動」では、生徒が学習内容を振り返って探究課題の解決につなげる「探究のステップ」に取り組む活動で、思考ツールを用いるなど、段階的に探究的な学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>○適宜設定されている特設ページ「もっと知りたい！」や「資料から発見！」では、本文での学習をさらに深めたり、広げたり、異なる視点で捉えたりしながら取り組む学習課題が用意されている。また、「みんなでチャレンジ」等で、対話の場面や様々な思考ツールを用いて思考を整理する活動が意図的に設定されるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○単元のまとめや見開き2ページを単位とした学習内容ごとに学習課題が設定されており、「チェック」と「トライ」の項目にて生徒が個別に学習課題に沿った学習活動を進めることができるように工夫されている。また、「スキルアップ」や「資料から発見」のコーナーも充実しており、個別最適な学びを実現する手立てとして工夫されている。単元の導入やまとめに設けられている「みんなでチャレンジ」では協働的な学びを展開できるよう工夫されている。</p>	<p>○世界の諸地域や日本の諸地域の単元の導入では、数多くの写真と共に、学習のテーマや視点が示され、生徒が学習する地域の概要を捉えられるようにすることで、見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。また、毎時間の「表現」や章末の「学習のまとめと表現」で、意見交換や話し合う場面が適宜設けられるなど、対話的な学習が展開できるよう工夫されている。さらに、特設ページ「持続可能な社会に向けて」では、今日的な課題が例示されており、個々の生徒の関心に応じて探究学習を進めるとともに、課題解決に向けて、探究意欲を高められるよう工夫されている。</p> <p>○コラム「地理の窓」が随所に設けられており、本文の学習内容をさらに掘り下げ、視野を広げる内容を紹介することで、生徒の興味・関心を喚起しながら、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○単元のまとめや見開き2ページを単位とした学習内容ごとに学習課題が設定されており、「確認」の項目にて生徒が個別に学習課題に沿った学習活動を進めることができるように工夫されている。「地理の技」のコーナーでは、生徒が個別に資料を活用する技能を習得できるよう工夫されている。また、「表現」の課題では、説明する活動など対話的な学びや協働的に学ぶ学習活動が展開できるよう工夫されている。</p>	<p>○単元の導入では、章のねらいや節の問いが示され、地域の地図やイラスト地図、数多くの写真などを基に、生徒が学習する地域の概観を捉えるとともに、見通しをもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。また、単元末のまとめでは、話し合い活動が設定されるなど、対話的な学習が展開できるよう工夫されている。さらに、「未来に向けて」のコーナーで、生徒の学習活動を持続可能な社会の姿と関連付けるなど、探究活動へと結びつけるように工夫されていることや、「学習を振り返ろう」や「アクティブ地理」を通じて、地域的特色と課題を踏まえ、学習内容に対する自分の考えを整理したり、再構築したりする場面を設けるなど、生徒の探究意欲を高められる課題の工夫が随所に見られ、優れている。</p> <p>○社会の課題解決に向けた取組事例を紹介した特設ページやコラム「未来に向けて」「地理プラス」で、環境、防災、共生社会などのテーマに沿って、学習した内容をさらに掘り下げる題材が豊富に取り上げられており、生徒が持続可能な社会の姿の実現に向けた発展的な学習につながる工夫として優れている。</p> <p>○単元における「節の問い」と各ページの学習課題と関連付けて学習を進めることができるように工夫されている。また、学習課題に対応した「確認しよう」と「説明しよう」の課題を通じて、生徒が個別に学習を進めることができるよう工夫されている。「技能を磨く」のコーナーでは、生徒が個別に資料を活用する技能を習得できるよう工夫されている。「アクティブ地理」などの学習課題では「対話」のマークを示して、グループ活動等を通じて協働的に学びを深めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の冒頭には、章の学習目的についての説明文が示されている。また、世界の諸地域や日本の諸地域の単元の導入では、地域の様子を捉える地図や写真、クイズと共に追究する問いが示されており、生徒が学習の見通しをもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。さらに、各章末の「まとめと振り返り」では、意見交換したり、話し合ったりする活動が用意されており、対話的な学びが展開しやすいよう工夫されている。各章の導入ページで、その章で主に着目する見方・考え方を示した上で、「節の問いを立てよう」で学習を見通し、見方・考え方を働かせながら、社会的な課題を考察し探究できるよう構成されるなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。</p> <p>○学習内容を掘り下げ、深めるためのコラム「地理+α」や、地域の姿をと捉えたり、節の問いを立てたりするための手がかりになるページ「持続可能な地域をめざして」など、生徒の関心を高めながら、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○単元のまとめや見開き2ページを単位とした学習内容ごとに学習課題が設定されており、「確認」と「表現」で生徒が個別に学習課題に沿った学習活動を進めることができるように工夫されている。「スキルUP」のコーナーでは、生徒が個別に資料を活用する技能を習得できるよう工夫されている。資料を考察する際の問いやまとめにおいて、「学び合い」のマークを設定し、協働的に学ぶ学習活動が展開できるよう工夫されている。</p>

【選定の観点4】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、地理的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
	<p>○導入の活動から毎時間の学習、まとめの活動を通して、「見方・考え方」を示す虫眼鏡のマークを付けた活動が随所に設定されており、生徒が意識して見方・考え方を働かせながら考察を深めることができる。また、「まとめの活動」では、ベン図、ウェビングマップ、フィッシュボーンなどの思考ツールの活用が提案されているなど、生徒が見方・考え方を働かせながら探究課題の解決を図れるよう工夫されている。</p> <p>○世界の諸地域の「導入の活動」で、地球環境問題など、現代的な諸課題に着目させるため、SDGs が取り上げられている。また、「まとめの活動」では、世界の各州で見られる課題をSDGs と関連付けて整理する場面が設けられており、生徒が地球的課題の視点と結び付けて理解し、解決しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○日本の諸地域の冒頭ページで、「交通・通信」「自然環境」などの地域の特色を捉える5つの視点が示されており、生徒がその視点を基に学習することで、日本の地域的特色の理解を系統的に深めていくことができるよう工夫されている。また、5つの視点が次に学習する地域の課題を想定し考察するヒントとして機能するよう関連が図られるなど工夫されている。</p>	<p>○巻頭ページで、地理の学習を進めていく上で重要な視点として「地理的な見方・考え方」が5つの視点で解説されている。また、地理的な見方・考え方を働かせる問いを毎時間の学習の中で、「確認／表現」として設定することで、生徒が学習課題に対して見方・考え方を働かせた学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭ページで「地球的課題とSDGs」と題して、SDGs の17の目標を掲げ、世界の諸地域で学習する6つの州で扱う地球的課題との関連を確認できるよう工夫されている。また、各州の冒頭でも、学習の視点となる地球的課題がどのような課題かを示し、生徒がその課題と関連付けながら地域的特色を追究する学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>○日本の諸地域の導入ページに、「学習の視点」として考察する視点が明示されている。また、「持続可能な社会に向けて(クロスロード)」では、「学習の視点」を基に考察した地域的特色と課題について、生徒がさらに考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭ページで、「地理的な見方・考え方」を5つの視点で解説している。節に設けられた「学習を振り返ろう」では、節の問いに対して、評価の三観点と関連付けながら振り返りの活動を設定し、生徒が自ら学習状況を把握することができるように工夫されている。生徒が段階的な活動を通して、地理的な見方・考え方を働かせながら問いを解決し、資質・能力を身に付けることができる構成となっており優れている。</p> <p>○世界の諸地域の冒頭に「学ぶにあたって」と題して、世界の6つの州の特色を追究する主題と注目する地球的課題の関係が一覧で示され、6つの州の地域的特色と地球的課題との関係を捉えられるよう工夫されている。また、「節の学習を振り返ろう」でも、生徒が地球的課題と地域的特色を関連付けて考察し、持続可能な社会を意識して課題解決を図ることができるよう学習活動が工夫されている。</p> <p>○日本の様々な地域、日本の諸地域の冒頭に「学ぶにあたって」と題して、7つの地方を学習する際に6つの地理の見方・考え方を示し、生徒が各地方の学習における考察の仕方を見通すことができるように工夫されている。また、各地域の考察方法が次に学習する地域の課題を考察する際の手がかりとして機能するよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭ページで、地理的な見方・考え方が、イラストを交えて分かりやすく説明されている。単元の導入で、単元を貫く学習の着目点として、見方・考え方を示すとともに、毎時間の学習課題に応じて、着目する見方・考え方を示しており、生徒が常に見方・考え方を学習の視点として具体的に捉えやすいように工夫されている。</p> <p>○世界の諸地域の冒頭ページで、6つの州の地域的特色を追究するためのテーマと各州で取り上げる地球的課題が一覧表の形で示され、生徒が各州の学習を進める際に、取り上げた地球的課題の要因や影響を考察できるよう工夫されている。また、学習のまとめの「まとめとふり返し」でも、地球的課題と地域的特色を関連付けて考察できるよう学習活動が工夫されている。</p> <p>○日本の諸地域の導入ページに、7つの地方の地域的特色を追究するためのテーマに加え、各地方で取り上げる地域の課題が一覧表の形で示されており、各地方の学習を通して、その地方の特色と関連付けながら、環境問題や都市の変化等の社会的課題について考察を深められるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の国土と郷土に対する愛情、伝統と文化の尊重、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重しようとする大切さについての自覚などを深められるよう、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	<p>○教科書全体で5つのテーマ「環境・エネルギー」「防災・安全」「人権・平和」「伝統・文化」「情報・技術」が取り上げられており、SDGs と結び付けて世界や日本の現代的な諸課題の解決を目指す学習を行う構成となっている。また、世界の諸地域の「まとめの活動」では、生徒が地球的課題の視点から各州の地域的特色を捉え、持続可能な社会に向けての課題を考察するなど、生徒が社会参画の意識を高められる工夫に優れている。</p> <p>○コラム「未来にアクセス」や「もっと知りたい！」において、世界各地の様々な文化や生活様式、環境保全や防災、情報化等について、本文の学習内容を掘り下げて詳しく説明するなど、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○「地域調査の手法」では、調査テーマを協議・決定する際の視点が示されており、考察・まとめが行いやすいよう、調査の流れが系統立てて示されるなど工夫されている。また、「持続可能な地域の在り方」では、生徒が地球的課題や日本の地域的な課題を基に、広島を例に身近な地域の課題を考え、調査・要因の考察・解決策の構想、そして将来像の提案に至る流れで学習を進められるよう工夫されている。</p>	<p>○特設ページ「持続可能な社会に向けて（クロスロード）」では、世界の各州や日本の各地方の事例を基に、地域づくりや社会参画、持続可能な社会について考える題材が取り上げられるなど、生徒が身近な例から自らも社会に参画しようとする意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○世界地誌・日本地誌の学習を中心に、多文化共生社会に注目した特設ページを設けて、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。写真等を効果的に使い、各地域の文化の特色に気付かせるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○「地域調査の方法を学ぼう」では、調査活動に必要な視点と方法が地域調査の手引きとして示されるとともに、一般的な調査過程と名古屋市をモデルとしたより具体的な調査過程の二種類が用意されており、生徒が具体的なイメージをもって実践しやすい。また、「地域のあり方」では、地域の課題として、熊本県水俣市を例に、その歴史や地域的特色と課題解決を提案する流れで学習が進められるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「未来に向けて」で、「環境・エネルギー」「平和・安全」「伝統・文化」「情報・技術」「人権・多文化」「防災」を主題とした題材を取り上げ、生徒が持続可能な社会を目指すことの意義について理解を深められるように工夫されている。世界の諸地域の各州のまとめで、持続可能な社会に向けて構想する活動を設定していることや、特設ページ「未来に向けて」で、地域の在り方を構想する活動を設定しているなど、生徒が社会参画の意識を高める学習課題の設定に優れた工夫が見られる。</p> <p>○世界や日本の諸地域学習において、各地域の文化や生活様式、産業等についての歴史的経緯が積極的に取り上げられており、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○「地域調査のしかた」では、調査テーマを決める際の視点の例、調査手順、必要な技能が系統立てて具体的に明示され、生徒が調査を行う際の技能を習得しやすい。「地域のあり方」では、生徒が持続可能な社会の実現を切り口に、地域が抱える課題を見だし、実態把握・課題の要因を考察し、課題解決に向けた構想・成果の発信の流れで学習を進めていくことができるよう工夫されている。</p>	<p>○人権、環境問題・環境保全、平和・命の尊さ、防災・減災、伝統と文化などをテーマとした題材が多く取り上げられており、現代的な諸課題について考えを深めることを通して、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○適宜設定されているコラムや特設ページなどで、世界や日本における自然・世界遺産や文化財等の伝統と文化を守り、未来に継承していく人々の営みについて深く考える題材が取り上げられており、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○「地域調査の手法」では、事例地域として京都市（伏見区）が取り上げられている。地域の特色を捉える考察方法を示し、生徒が学習課題を身近に感じながら取り組むことができるよう工夫されている。「地域の在り方」では、よりよい地域づくりに向けた取組の具体例を示し、生徒が持続可能な地域づくりについて考えていけるよう工夫されている。</p>

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
<p>○随所に設定されている「もっと知りたい!」や「未来にアクセス」コーナーで、人権、平和、伝統文化、環境、エネルギー等に関連した内容が取り上げられている。また、イスラム教の人々の暮らしや、アイヌ民族の文化の歴史的背景等が題材として取り上げられるなど、生徒が人権尊重や国際平和についての意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○「持続可能な地域の在り方」で、広島を具体例として取り上げる事で、世界の中の日本人としての自覚や、国際的視野に立った世界平和と人類の発展へ寄与する視点から、生徒が生命の尊さ、国や郷土を愛する態度等の道徳的価値について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○アパルトヘイト、日系人の話、アイヌ文化など、人権意識を高める題材が取り上げられている。自然災害に向き合う内容が積極的に取り上げられ、生徒が地理的視点から人権の大切さについて考えを深められる工夫が見られる。学習課題やコラムに関連付けられた資料では、先住民の姿や、被災地でボランティア活動する海外のボランティアの姿を取り上げるなど、人権に関わる視点にも関連した写真を積極的に取り入れた構成が見られ、人権意識を育む構成に優れている。</p> <p>○ボランティアを含めた公共的な活動や政策に取り組む人々の活動が取り上げられるとともに、そうした活動に携わる人々の思いを紹介することを通して、生徒が勤労、よりよく生きる喜び、国や郷土を愛する態度等などの道徳的価値について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「未来に向けて(人権・多文化)」が、各所に設けられており、アパルトヘイト、イスラム圏の女性の社会進出、植民地支配の歴史と公用語、日系人、在日韓国・朝鮮人、コリアタウン、など、多様な価値観や異文化との共生を目指す人々の姿を通じて、生徒が人権に対する意識が深められるよう工夫されている。</p> <p>○全体を通して、防災や平和の視点から生命を大切にすることが取り上げられている。また、特設ページ「未来に向けて」では、地域社会をよりよくするための取り組みが紹介されており、生徒が生命の尊さ、社会正義、国や郷土を愛する態度等の道徳的価値について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○フェアトレード、多文化共生社会、アイヌ民族等が題材として取り上げられるとともに、コラム「地理+α」では、ウクライナ問題や性的少数者へ配慮した社会の取り組みが取り上げられるなど、生徒が人権尊重の大切さについての意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○伝統と文化の維持・発展に取り組む事例が豊富に紹介されている。また、各所で防災・減災、環境保全等について幅広く取り扱われており、生徒が生命の尊さ、自然愛護、国や郷土を愛する態度等の道徳的価値について考えを深められるよう工夫されている。</p>

【選定の観点7-1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
<p>○単元を貫く「探究課題」とその解決につながる1時間ごとの「学習課題」の2段階の問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。特に、各単元末の「まとめの活動」は、思考ツール等を用いながら、単元の学習内容の理解を深められるよう工夫されている。また、基礎的・基本的な地理的技術の習得を図るための「スキル・アップ」コーナーが、系統的に配置されており、生徒が技能を段階的に高められるよう工夫されている。</p>	<p>○1時間ごとの学習課題と「確認/表現」のまとめの活動、各章末の「学習のまとめと表現」に取り組むことで、生徒が学習内容の定着を図ることができる構成となっている。また、世界や日本の諸地域では、各地域の学習後に、特設ページ「持続可能な社会に向けて(クロスロード)」が設けられており、生徒が現代の世界の話題や現代日本の課題から、それぞれの地域の学習をさらに深めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○学習課題の問いに対応した「確認しよう」「説明しよう」の活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるように工夫されている。章・節末の「学習を振り返ろう」で、学習内容を深める場面が段階を踏んで設定され、生徒が継続的な学習を通じて、資質・能力を習得できるように工夫されている。「技能をみがく」コーナーは、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けることができるよう、系統的に配置されている。</p>	<p>○各編の導入で、今後の学習の見通しを立て、各章末の「まとめと振り返り」に取り組む構成となっている。特設ページ「持続可能な地域をめざして」で、これまでの学習を基に社会に見られる課題の解決に向けて話し合う活動が設定され、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。「トライ」や「スキルUP」コーナーを設けて地理の学習に必要な技能を系統立てて取得できるように工夫されている。</p>

【選定の観点 7-2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	<p>○歴史的・公民的分野や他教科との関連が一目で分かるようマークが示されており、生徒が関連を想起しやすい。また、教科書全体を通して、環境・エネルギー、伝統文化、防災・安全、情報・技術などの現代的な諸課題に関わる課題が数多く取り上げられており、生徒が現代的な課題との関連を想起ながら学習を進めていけるよう工夫されている。</p> <p>○各章の章扉には、小学校で学習した写真や用語を掲載してマーク等で示し、小学校の学習を振り返る場面が設けられているなど、小学校での学習に中学校での学習を重ねた7年間の社会科学学習を系統的に展開できるよう工夫されている。</p> <p>○日本の諸地域の単元では、各地方の学習の終わりに、それまでの学習内容を整理し、地域ごとの特色を自然、人口・都市、産業など視点でまとめる活動が設けられている。また、特設ページ「持続可能な地域の在り方」では、それまでの学習を振り返りながら、地域の課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動が用意されるなど、生徒が主体的に地域社会の形成に参画する資質や態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭で、地理で学ぶ主な内容と歴史・公民分野との関連や学習の見通しについて説明されている。また、見開きの右下には、他分野のどの単元や項目と関連するのかが示されており、分野を越えたつながりを意識しやすい工夫がされている。また、特設ページ「持続可能な社会に向けて（クロスロード）」では、現代的な諸課題を取り上げることで、生徒が地域的特色と現代的な課題との関連を想起しやすい工夫となっている。</p> <p>○中学校へスムーズな連携を図るために「地理の学習を始めるにあたって」が設けられ、中学校での学習内容を分かりやすく示している。また、「地理にアプローチ」では、生徒がこれまで小学校で学んできたことを具体的に復習できるよう工夫されている。</p> <p>○各地の地域おこしの事例を通して、地域社会が抱える課題と、地域の活性化に向けた人々の工夫や努力について考察が深められるよう工夫されている。また、「地域のあり方」では、熊本県水俣市を例に地域の課題を見つめ直し、課題を解決する方法を考察・構想していく学習を通じて、生徒が主体的に社会に形成に参画し、その発展に寄与する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭には、地理的分野の学習の全体像と公民的分野のつながりが示されている。見開きの左下には、歴史、公民や他教科との関連が明示され、生徒がどの単元のどの項目を振り返るとよいか分かるよう工夫されている。「環境・エネルギー」「平和・安全」「伝統・文化」「情報・技術」「人権・多文化」「防災」をテーマに、現在および将来の社会が直面する課題を取り上げたコラム「未来に向けて」は、公民的分野への学習と関連付けられるように工夫されている。</p> <p>○見開きの左下に「小学校・歴史・公民・他教科との関連」として、関連する学習内容、題材を示し、生徒が小学校での学びを振り返り、既習事項を復習することができるように工夫されている。</p> <p>○特設ページ「未来に向けて」で、実社会の人々が連携・協働して、地域のよりよい発展を目指して取り組む姿を紹介することで、生徒が社会の発展に寄与する態度を身に付けられるよう工夫されている。また、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」の各節末に設けられた「学習を振り返ろう」では、地域の課題解決に向けて考えを深める活動を取り入れることで、生徒が地域の課題と自分たちの関わりを考え、よりよい地域づくりのための意識が高められるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭に、地理で学ぶ主な内容と、どのように学ぶのかという学習の見通しについて説明されている。また、見開きの左下の脚注に、歴史・公民分野のどの単元と関連しているかが具体的に示されており、生徒にとって使いやすい。また、特設ページ「持続可能な地域をめざして」や「節の問いを立てよう」では、現代的な諸課題が取り上げられており、生徒が関連を図りながら学習を進めていけるよう工夫されている。</p> <p>○小学校社会科との連携コーナーが随所に設けられるとともに、各章の導入ページに小学校で学習した内容が示され、生徒が小学校での学習内容を地理学習に生かすため、繰り返し復習・再確認できるよう工夫されている。</p> <p>○各特設ページ「持続可能な地域をめざして」、コラム「地理+α」等で、「SDGsで世界をリードするヨーロッパ」「世界自然遺産に登録された屋久島」等、地域社会の地理的な話題が紹介されており、生徒の興味を引き付けている。また、地域調査の手法・構想の具体例を示しながら、「まちづくり会議」を開いて、構想を議論し成果を発信する活動までが想定されているなど、生徒が社会参画への関心や意欲が高められるよう工夫されている。</p>

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
<p>○世界の各州の導入部分に自然や生活に関する写真や、日本の各地方の導入部分には各地方の「探究課題」に関連した写真が掲載されることで、生徒が学習する地域のイメージをもてるよう工夫されている。</p> <p>○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、本文と資料の背景色を変えることで、より本文の文字が読みやすくなるよう工夫されている。また、ユニバーサルデザインフォントが使用されており、全ての生徒の色覚特性に適應するデザインを採用するなど工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○文字や図版などの資料の印刷は鮮明で大きく、色彩もビジュアル性が高く、特に写真の発色がきれいな印象で、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>○重要語句は太文字のゴシック体で表記されており、グラフなどは大きく、色使いを統一させるなど、工夫されている。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、見開き右下の色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○写真や地図・グラフなどの資料について、情報が読み取りやすい大きさを考慮して掲載している。「地理的な見方・考え方」を働かせて、地理的事象の背景や因果関係を読み取る学習活動を行いやすいように、見開きのページ内に本文内容と関係する資料が読み取りやすい位置に配置されている点で優れている。</p> <p>○重要語句は太文字のゴシック体で表記されており、地図などの発色ははっきりしており、見やすくする工夫がされている。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。</p> <p>また、グラフなどは、色以外の情報からも読み取れるよう配慮されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙とライスインキが使用されている。</p>	<p>○世界の各州の導入部分や日本の各地方の導入部分に自然や生活に関する写真が掲載されるなど、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、統計やグラフの出典年まで示されるなど、工夫されている。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、ページ番号に色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>